

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻入学試験

(一般入試 (後期日程) : 小論文)

問題用紙

注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

小論文注意

1. 解答は横書きとし、楷書で左から右へ書くこと。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。
3. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
4. 小論文解答用紙は汚したり、折りまげたり、破ったりしないこと。
5. 下書きは、別に配付の下書用紙を使用すること。試験終了後、下書用紙は持ち帰ること。

以下の2つの論題の両方について、それぞれ600字以上800字以内で解答してください。解答は、該当する論題番号の解答用紙に記入してください。なお、異なる論題番号の解答用紙に記入した場合には得点が与えられませんので注意してください。

論題1

これからの学校では、「子ども主体の学習評価」がますます重要になっている。そのためにあなたが大切だと考える評価の在り方を3つあげて、具体的に述べなさい。

論題2

平成28年12月に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」が公布されました。「義務教育」とありますが、義務教育以外でも法の趣旨をもとに取り組むことは意義があります。また国及び地方公共団体に取り組強化を求める条文が多いですが、学校等も法を意識する必要があるものと考えます。この法律の理念や考え方を明記するとともに、その趣旨に沿ってあなたはどのように取り組みますか。希望する校種等にかかわらず、2点をあげ具体的に記述してください。